

令和7年2月25日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立神領小学校

校長 坂田 未鈴

事業テーマ	自ら考え、進んで表現するたくましい神領っ子の育成 ～じんサントタイム(ジンプログラム)の充実と発展を目指して～	
取組の目的	本校は、令和4年度9月より主体的な関わり合いを重視した「じんサントタイム」に取り組み、子ども同士の関わる力、対話する力は着実に育ってきている。今年度も、この取り組みを継続し「あんしん」な環境を保障するとともに、コミュニケーションスキルを教科や行事に活かしていきたい。また、自己をしっかりみつめ、振り返り活動を充実させ、一人ひとりの個性に合わせた深い学びを実現していくことを目的としていきたい。	
区分 (○印を付ける)	新規事業・ 継続事業 （総事業年数4年間、3年目）	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容	令和4・5年度は講師を招いてじんサントタイムを学級経営に取り入れることとなった。令和6年度も引き続きじんサントタイムを発展させていくために、講師の先生のご指導をいただきながら、事業を進めた。	
事業名	事業内容	実施時期
・関わり方を学ぶ	・じんサントタイムを学級経営に取り入れ、他人とのより良い関わり方や、他人の行動や言葉から学んでいく姿勢を身に着ける。	4月～3月
・自己をみつめる	・講義や体験を通して学んだことを、ワークシートやICTを有効に活用して振り返りを行う。	4月～3月
・多様な生き方から学ぶ	・異学年交流をはじめ、子どもと子ども、地域と子どもがつながる活動や、働く大人との交流を通して、自分自身の生き方について考えを深める。	7月～1月
・授業に生かす	・じんサントタイムで学んだことを日ごろの授業の関わり合いの中で実践していく。	4月～3月
取組の成果 ・SSTとSGEを融合したプログラム（じんサントタイム）を月に2回、業前の時間に行うとともに講師を招聘し、児童にコミュニケーションスキルを学ばせた。 ・授業や体験活動の準備や振り返りにICT機器等のツールを活用し、発表や伝える機会をより多く設定することができた。 ・風揚げ大会をはじめ、縦割りの活動班による異学年交流を定期的に行った。児童が地域との繋がりをとおして学ぶ場をより多く設定することができた。 ・講師を招聘し、特別活動や授業へどのようにじんサントタイムの取り組みを繋げていけばよいのか指導をいただき、行事や授業の中でより良い価値づけをする意識を高めることができた。		
課題 ・教師も児童もじんサントタイムをすることに慣れてきて、スムーズに実施することができるようになってきた半面、よりレベルアップしていくにはどのようにしたら良いか、講師の先生から新たな示唆をいただいたので、引き続き向上心を持って取り組んでいきたい。 ・じんサントタイムで培った力を、授業に生かすことができるよう授業力向上に努め、児童に自分の課題を選ばせることができるように育てていきたい。 ・「かかわる」「つながる」活動を継続して行っていくことで、安心して過ごせるクラス、学校の中で自信をもって自ら考え、進んで表現できる子どもたちを育てていきたい。		

じんサントイムの様子



教職員研修の様子

